

# Windows 10 64bit 版へのインストール

「Windows 10 64bit 版」では、「デジタル署名」されていないデバイスドライバーのインストールが、通常はできないようになっています。DoctorMX のインストール、あるいはデバイスドライバーの更新／再インストールするときは、一時的にこれをできるようにする必要があります。

それには、Windows 10 起動時の「スタートアップ設定」において、「ドライバー署名の強制を無効にする」とします。

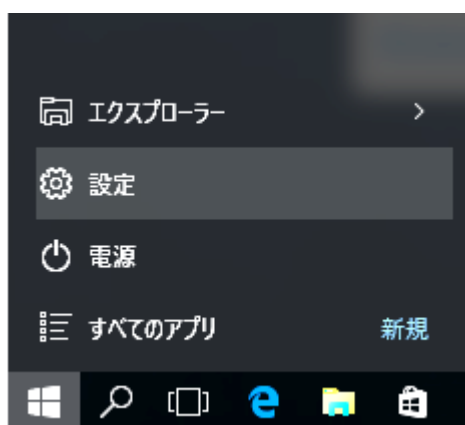
## 「スタートアップ設定」画面を表示する方法

1：複数のシステムがインストールされていて、起動時に選べる場合は、「F8」キーを押して起動します。

「スタートアップ設定」画面が表示されます。  
「ドライバー署名の強制を無効にする」を選びます。  
(数字キーの「7」を押します)

2：Windows 10 動作中の場合は、以下の手順で行います。

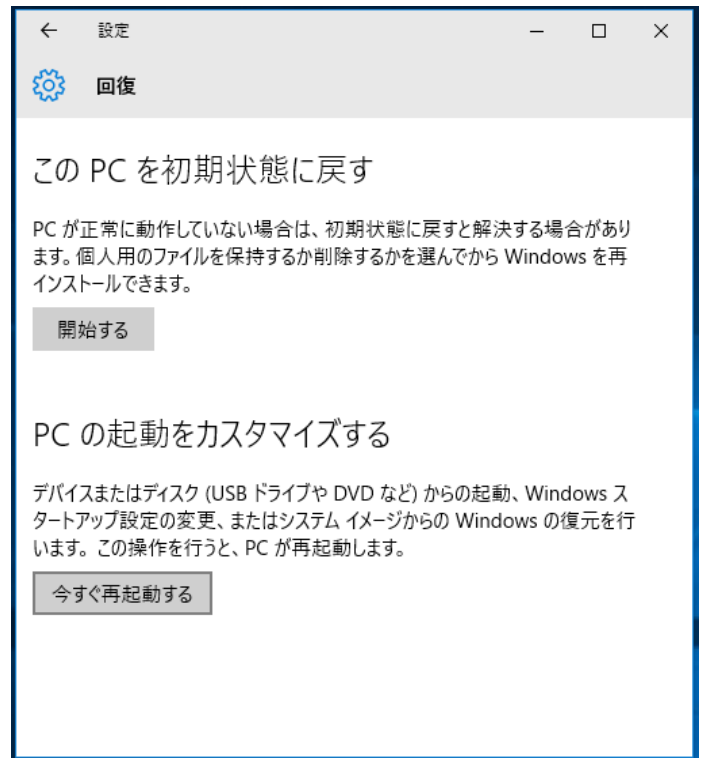
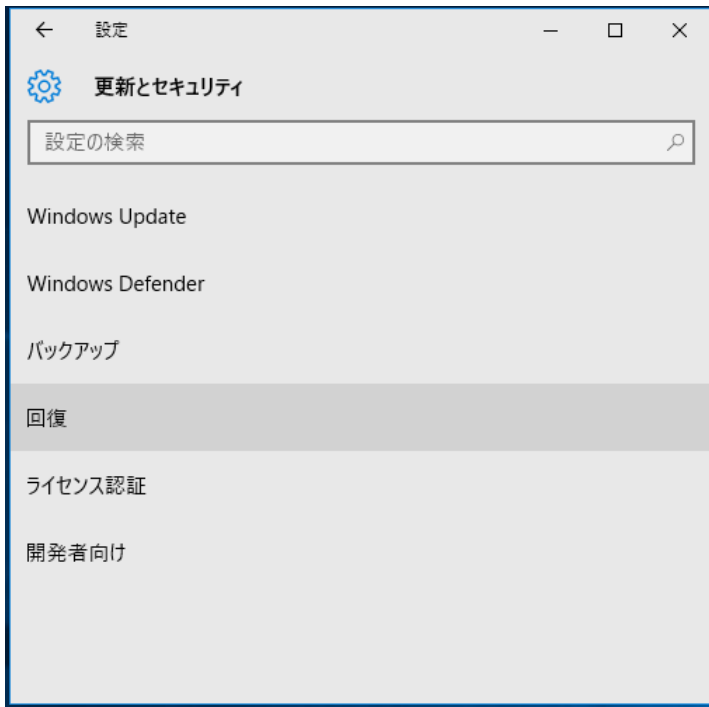
(この説明を表示しながらは行えなくなりますので、印刷したり、他のコンピューターで表示してください)



スタートメニューから「設定」を選びます。



設定：「更新とセキュリティ」を選びます。



更新とセキュリティ：「回復」を選びます。

回復：「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」を選びます。

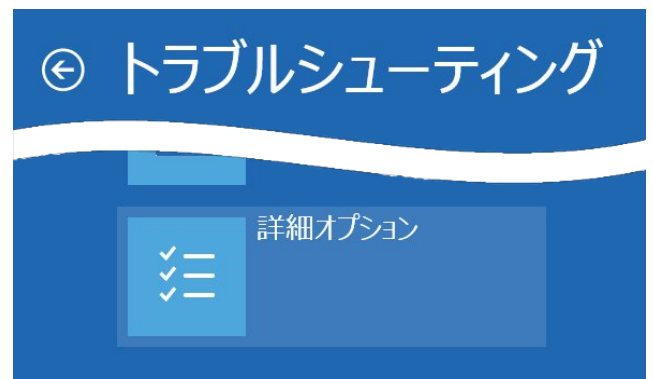
「今すぐ再起動する」を選ぶと PC が再起動して「オプションの選択」画面が表示されます。



「トラブルシューティング」を選びます。

「詳細オプション」画面が表示されます。

「トラブルシューティング」画面が表示されます。



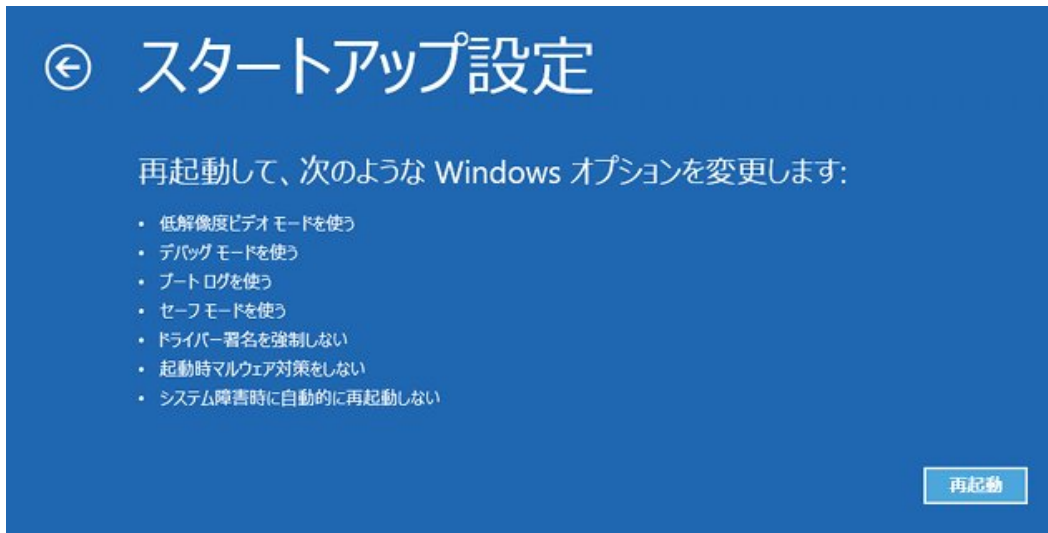
「詳細オプション」を選びます。



「スタートアップ設定」を選びます。

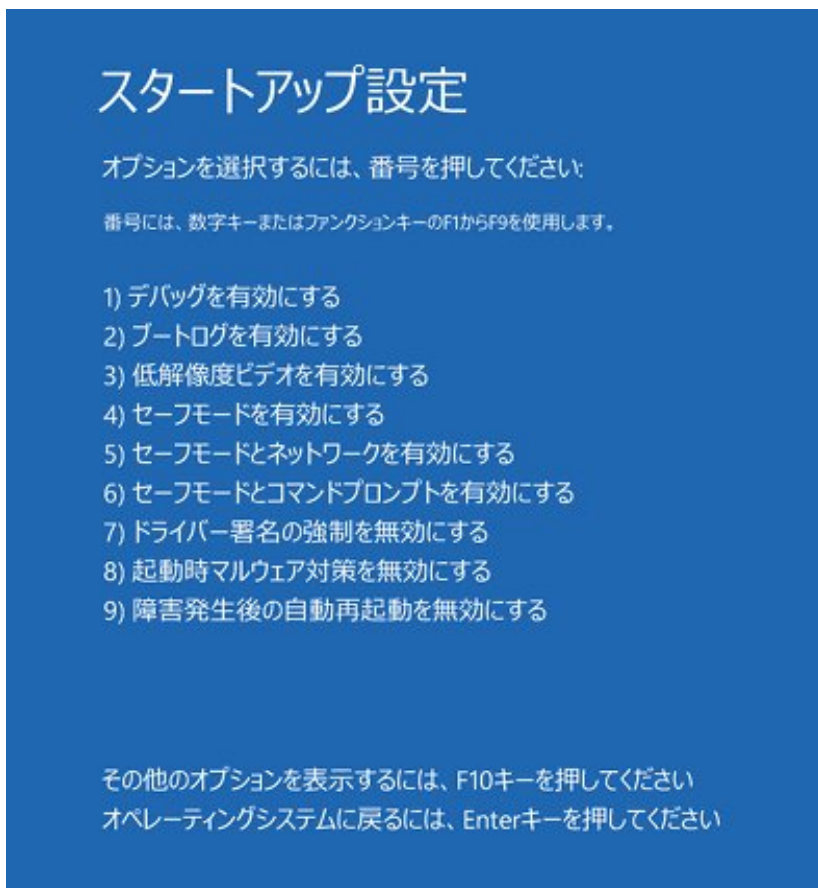
(「スタートアップ設定」が見当たらない場合は「その他の修復オプションを表示」ページ内を探してください)

「スタートアップ設定」画面が表示されます。



「再起動」を選ぶと再起動後に「スタートアップ設定」画面が表示されます。

## 「スタートアップ設定」画面



「ドライバー署名の強制を無効にする」を選びます。  
(数字の「7」を押します)

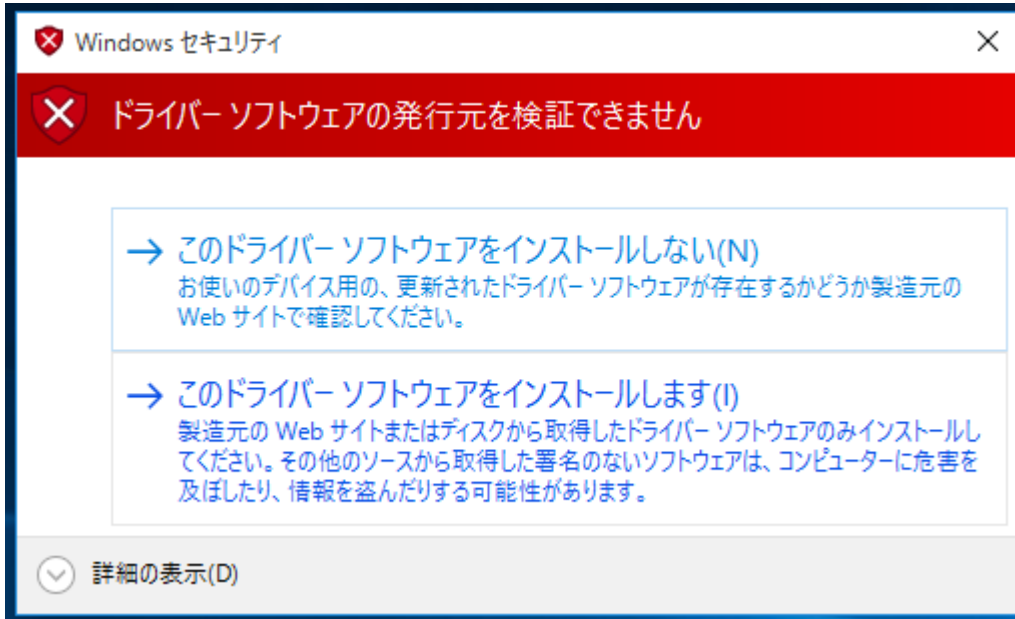
このように起動してから、DoctorMX インストーラーの実行、デバイスドライバーの更新、デバイスドライバーの再インストールを行ってください。

次回の起動時には通常の設定に戻っていますので、再度インストールなどを行う場合は同様の手順が必要になります。

## 付録

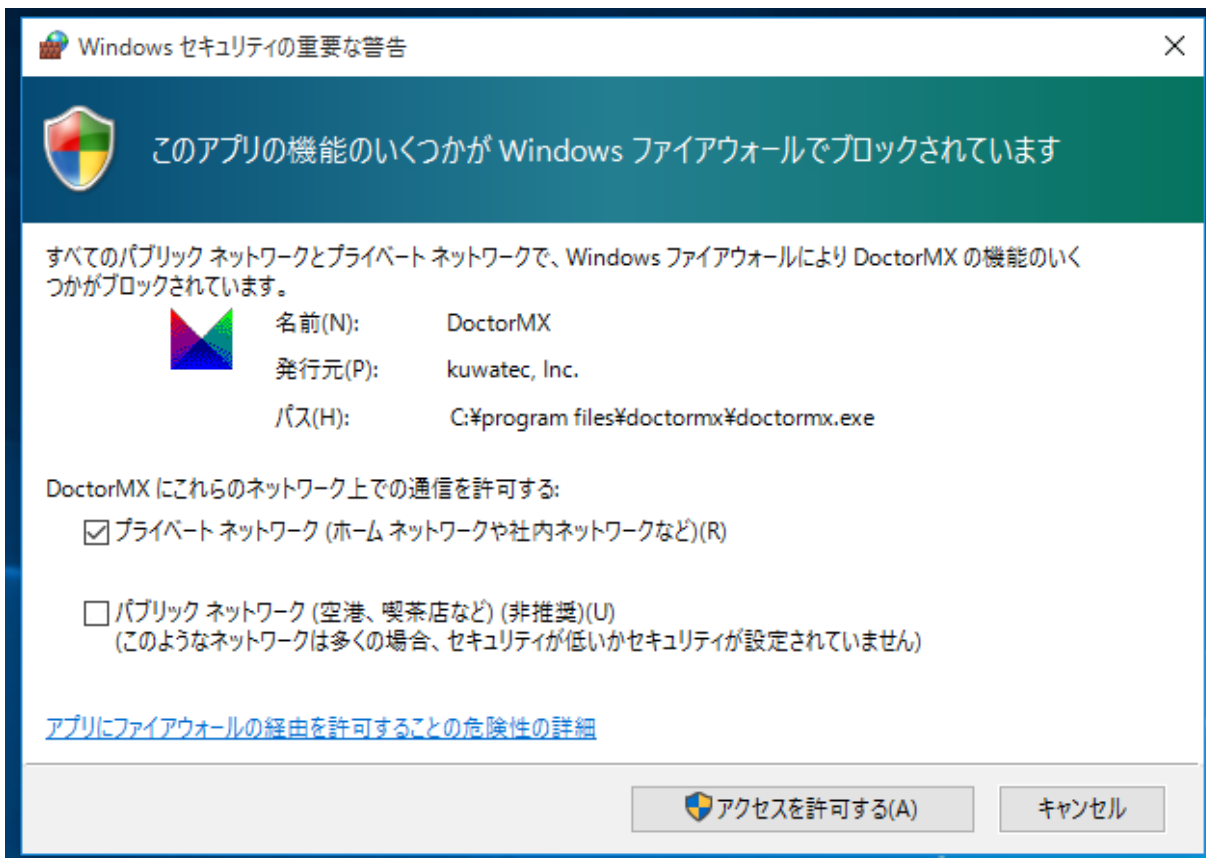
### 「Windows セキュリティ」

DoctorMX のインストールや更新時に下記のようなメッセージが現れた場合は、「このドライバー ソフトウェアをインストールします (I) 」を選んで、DoctorMX のデバイスドライバーのインストールを許可してください。



### 「Windows セキュリティの重要な警告」

DoctorMX ソフトウェアを実行すると、下記のようなメッセージが現れることがあります。



必要に応じて DoctorMX にネットワーク上での通信を許可してください。

- おわり -